

平成 29 年度 学校協議会議事録

第 3 回学校協議会 第 1 部 平成 30 年 1 月 31 日（水）15 時～16 時

場所：応接室

参加者：協議会委員 4 名

本校職員 6 名（准校長、主査、教務主任、首席-生活指導主任、進路指導主任、書記）

1. 准校長挨拶

2. 協議

平成 29 年度 学校教育自己診断結果について（准校長）

- 学習指導「わかる授業」「充実した授業」肯定的回答が H28 年度より増加。
相互授業見学を実施、ICT の活用など授業の工夫を行っている
- 生活指導「話を聞いてくれる先生が多い」 肯定的回答が H28 年度より増加。
- 進路指導「進路指導への満足」 肯定的回答が増加。
卒業学年だけでなく、1～3 年で将来や自分自身を考える進路指導を行っている。
- 外部への情報発信の項目で大きくポイントが上がった。
対外的な活動が活発であった。創立 80 周年にあたり、全日制との連携も多かった。

学校経営計画策定について（准校長）

「様々な背景をもった生徒たちが、本校でいきいきと学校生活を送れるように」の基本姿勢。

- 『小規模校のスケールメリット』少人数指導というのが生徒からも支持されている。
- 『あいさつ運動』の継続。また、全日制との共同企画も続けていきたい。

平成 29 年度 教育活動の報告（各主任）

教務

- 次年度へ向けて、自己実現へ向けた選択科目の確認
- H30 年度入試からインフルエンザ等により患った生徒に対する追入試が行われる。

生活指導

- 本校の校則は「安心安全に学校生活を送るための最低限のルール」として、他の生徒の学校生活を脅かさないことと進路につながることを念頭に置き指導している。
- SNS の利用について、あやうさを感じることもある。今のところ被害はない。個別に指導するだけでなく、全体的な啓発を行っている。

進路指導部

- 進路状況の報告 … 就職 進学（四大、専門学校） 未定・その他
- 求人率は上がったが、業種に偏りがあり、生徒の希望とのミスマッチも多い。
- 卒業生に対しては1年生から進路へ向けて話をしてきた。面接指導で自己PRするなど4年間での成長を感じる。
- 進学については、一般入試でうける生徒は減ってきている。多様な入試形態があるので、1年生からの指導が大切。

学校行事

大きな変更はなし。修学旅行は、沖縄を予定。入試の関係で、卒業式が2月末日に。

3. 閉会の言葉